

石原孟教授・高本剛太郎氏・ムハマド ワヒード サーワー博士
日本風力エネルギー学会 論文ポスター賞受賞

2011年11月30日に開催された『第33回風力エネルギー利用シンポジウム』において、石原孟教授、高本剛太郎氏、ムハマド ワヒード サーワー博士による“応答スペクトルの不確実性と風車タワーの高次モードを考慮した地震荷重評価式の提案”と題した研究発表が日本風力エネルギー学会 論文ポスター賞に選ばれました。応答スペクトルの不確実性と風車の固有周期を考慮した減衰補正係数と3次モードまでを考慮した鉛直分布関数を提案すると共に、時刻歴応答解析と比較することにより、本提案式は高い精度を有することを示したことが評価され、今回の受賞となりました。

